

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成27年度第3回入間市環境審議会
開 催 日 時	平成28年1月29日(金) 午後2時00分 開会・午後4時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 B棟 5階 全員協議会室
議 長 氏 名	木内 勝司
出席委員(者)氏名	木内 勝司、黒瀧 孝秀、相葉 学、犬塚 裕雅、岡野 亘、 加治 隆、川名 千鶴子、斎藤 令子、篠塚 玲子、中村 巖、 森谷 秀一
欠席委員(者)氏名	伊藤 雅道、永井 健一、三木 康行、結城 隆
説明者の職氏名	環境経済部副参事 田口 雅也、環境課副主幹 竹廣 由美
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 平成26年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について(公開) (2) その他(公開) 4 閉会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度における環境保全及び創造に関する施策の進捗状況について(意見)(案) ・平成27年度第2回入間市環境審議会会議録 ・入間市ごみ分別アプリのチラシ ・エコライフDAY2015(冬)チェックシート ・環境市民講座④のチラシ ・まちの魅力づくりシンポジウムのチラシ ・入間市観光大使 新キャラクターの名前募集のチラシ
事務局職員職氏名	環境経済部長 山崎利明、環境経済部次長 増岡清、 環境経済部副参事 田口雅也、環境課副主幹 竹廣由美、 環境課主事 小林省太
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 田口副参事の進行で開会

2 会長あいさつ

木内会長あいさつ

3 議題

木内会長が議長となり、議事を進行

(1) 平成26年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について
事務局より説明後、意見交換し意見書を作成

(2) その他

事務局より

- ・環境市民講座のお知らせ
- ・まちの魅力づくりシンポジウムのお知らせ
- ・入間市観光大使 新キャラクターの名前募集のお知らせ

4 閉会 黒瀧副会長

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会 (田口副参事)	<p>入間市環境審議会条例第6条第1項の規定により会長に議長に就任していただき、会議に入らせていただきます。会長よろしくお願いいたします。</p>
議長 (木内会長)	<p>それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。ただいまの出席委員は11名です。定足数に達していますので、これより平成27年度第3回環境審議会を開会します。遅刻の届出が永井委員から、欠席の届出が伊藤委員、三木委員、結城委員から出ております。</p> <p>本日の会議録については要点筆記とし、事務局が作成します。また、会議録の署名は、黒瀧副会長を指名します。早速ですが、議事に入らせていただきます。</p> <p>はじめに議題(1)平成26年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について審議いたします。前回の審議会において、皆様から頂いた御意見を基に意見書の原案を作成しました。原案につきましては、事務局がまとめた素案に川名委員・犬塚委員・黒瀧委員の3名及び私からの意見を取り入れたものです。</p> <p>本日、これを基にご審議いただき、意見書としてまとめ提出したいと考えているので、協力いただきたい。</p> <p>では、事務局から説明してください。</p>
竹廣副主幹	<p>まず、前回の審議会でご質問がありました2件について、説明します。</p> <p>1件目は、市内の茶畑の面積調査の結果について確認することでした。農政課に確認したところ、現在集計中との回答でした。2件目は、学校給食センターの生ごみの資源化率が平成24年度に比べて、平成25年度、平成26年度は下がっていることについてのご質問でした。学校給食課に問い合わせたところ、表現方法が異なってしまいましたが、中身は変わらず、資源化が可能な食物残さについては、資源化を実施している。なお、学校給食センターでは、調理方法や給食を残さず食べてもらう工夫で、食物残さ</p>

	<p>を出さない努力をしているそうです。</p> <p>では、意見書（案）の要点を説明します（要点の読み上げ）。</p> <p>長いので、一つずつご意見を伺いたいが良いか。</p> <p>（異議なし）</p>
議長	
議長	<p>まず、表題及び前文はよろしいか。</p> <p>（異議なし）</p>
議長	<p>「1. 景観対策、生物多様性保全に積極的に取り組んでいただきたい。」のところはどうか。</p>
中村委員	<p>お茶は入間市にとって重要な産業とあるが、重要な地場産業としてはどうか。</p>
犬塚委員	<p>地場産業とはどういうものなのか、確認が必要ではないか。普通、農業は地場産業と言わないのではないか。</p>
川名委員	<p>検索すると、その地域に根差した伝統的な産業とある。</p>
議長	<p>ウィキペディアによると、一定の地域において、ある特定業種の地元資本の中小企業云々とあり、間違いではないようだ。要は、地元資本であり大企業ではない産業。いわゆる中小企業ということだがどうか。</p>
犬塚委員	<p>地域経済の世界では、農業は地場産業とは言わない。もちろん、入間市の茶業は個性を持った世界に誇れる産業という思いは分かる。</p>
山崎部長	<p>入間市の茶業は自園、自製、自販の6次産業である。先のダボス会議の土産に狭山茶が使われたこともあり、世界に輸出をしていく展開もある。ゆえに地場産業ではなく、単に産業で良いのではないか。</p>
川名委員	<p>これは環境の意見なので、景観に重きを置くべき。この意見書は、田中市長宛てであり外に出すものではない。地場という言葉を入れない方が文章が生きると思う。</p>
議長	<p>外に向けて PR する場合は地場産業と言っても良いと思うが、茶畑は景観資源としてとらえるのはどうか。</p>
中村委員	<p>結構です。</p>
犬塚委員	<p>樹林地と平地林の違いはなにか。</p>

議長	樹林地は加治丘陵などの斜面樹林地も含む。平地林は加治丘陵などの斜面樹林地を除く、いわゆる平地に生育する樹林地をさす。
加治委員	平地林を雑木林にした方が分かりやすいのではないか。より景観的なイメージが出てくるのではないか。入間市の景観の特徴を印象付ける茶畑と雑木林としてはどうか。
議長	樹林地（平地林）を雑木林にして良いか。 (異議なし)
議長	「(2) 加治丘陵のスギ・ヒノキ林の落葉広葉樹林への林種転換について」はどうか。補足すると、みどりの課で計画はあるようだが、実施されていないようなので、審議会の意見として出した方が良かったもの。
森谷委員	スギやヒノキ林が景観にすぐれないとは限らないので、景観的にすぐれたという文言は、要らないのではないか。
議長	落葉広葉樹林は、四季おりおりの変化があるので、一般的に景観にすぐれているといわれている。
犬塚委員	落葉広葉樹林は生物多様性に優れている。
中村委員	景観的にすぐれたという文言は、要らないと思う。
議長	すぐれているかどうかは人によってちがうので、取ります。 (異議なし)
議長	「(3) 外来種対策について」はどうか。コクチバスは漁協がやっている。外来植物はどうか。
山崎部長	外来植物は多すぎるので、やってない。
議長	やれるやれないは別として、これは国の方針でもあるので、審議会の意見として出したいがいかがか。 (異議なし)
議長	「2. 環境市民活動を活性化する方策について、中間支援組織としてのNPO 市民団体等と連携して調査検討していただきたい。」の項目の中の 「(1) 市民が環境活動に取り組みやすいツールなどの PR」はどうか。ごみの出し方のアプリを利用すると分かりやすく、他市町村でもやっ

	<p>ている。また、エコライフチェックシートは、環境まちづくり会議や小中学校が頑張っている。入間市は県内8位くらいで以前表彰された。このところは、このままでよいか。</p> <p>(異議なし)</p>
議長	<p>「(2) 環境アドバイザーが活動しやすい環境づくり」については、どうか。</p>
岡野委員	<p>環境アドバイザーは依頼を受けてから活動するように制度が作られている。そのところから変えていかなければいけないと思うので、このままで良い。</p>
議長	<p>「(3) 環境市民団体への活動支援策の調査検討」、これについてはどうか。補足をする、中間支援団体とは、まちサポや環境まちづくり会議のことである。</p>
犬塚委員	<p>(3) の根拠を前回の会議録から探しているが、河川のところが見当たらない。会議録以外からの要素も入っているのか。</p>
議長	<p>わかりやすく説明するために、ちょっとプラスになっている。</p>
犬塚委員	<p>メンバーの高齢化・後継者不足、資金調達云々の部分は良い。しかし、河川まで話を広げているのなら、加治丘陵里山基本計画を推進する市民団体をはじめ、の文言は要らない。また、行政が直接市民と何かやるのではなく、中間支援団体と連携してやるのが良い。</p>
森谷委員	<p>中間支援団体とは何かが分かりづらい。かっこ書きで、まちサポや環境まちづくり会議等として説明した方が良いのではないか。</p>
議長	<p>分かりやすいが、名前を出すのはどうか。</p>
山崎部長	<p>中間支援団体(NPO)とのみ表記。個別団体の名前を出すのはどうかと思う。この会議の内容は、行政として記録が残るので、中間支援団体は、まちサポであると理解した。</p>
犬塚委員	<p>文頭が長い。入間市の特徴としての言葉を選ぶと良い。「入間市では、加治丘陵、狭山丘陵、入間川、霞川などを舞台にした活動に取り組む環境市民団体があります。」としてはどうか。</p>

齋藤委員	環境市民団体が複数回出てくるので、整理が必要。
議長	了解した。
黒瀧副会長	タイトルは、中間支援組織と中間支援団体のどちらか。
議長	中間支援団体が良い。
	次の、「3. 市民にわかりやすい環境報告書、環境基本計画を作成していただきたい。(1) 環境報告書の表現の工夫」の項目についてはどうか。
齋藤委員	すごくソフトに言っている。あまり理解されていないのに、婉曲的に言っている。理解しやすい報告書になっていません。と言い切ってしまうと良いのではないか。
森谷委員	それは、言い過ぎではないか。例えば、一部に理解しにくい部分がある。としてはどうか。
犬塚委員	文章構造がややこしくてダメなのか、読み手の知識が不足しているから理解しにくいのか、という問題がある。
齋藤委員	この意見書の書き手は、読みづらいと思っているのではないか。
議長	毎年このような意見は出る。
犬塚委員	全体として、そんなにひどくないと私は思う。
川名委員	環境は分野や取り扱う範囲が広い。例えば、水質の汚染を数値で表す場合は分かりやすい。しかし、どうしても分かりにくい表現になってしまうところがあるのは、ある程度仕方がない。報告書については、常に改良していくことが必要と考える。
議長	森谷委員の言うように「一部が分かりにくい」、として残すのか。意見を求む。
犬塚委員	どのデータを使うかで混乱しているようだ。このような場合、書く人が根拠を明確にし、誤解を与えないようにデータを取り扱えば良いのではないか。
議長	「文章的に市民にわかりやすい表現にすること。」と、「市民に分かりやすいデータの取り扱いについて書く。」という2つのパターンがある。

	<p>しかし、その前に、この部分を入れるか入れないかを先に決めたいがいか がか。</p>
岡野委員	<p>入っていた方が良い。</p>
犬塚委員	<p>「毎年、環境報告書が作成されていますが、市民にとって読みやすく理 解しやすい報告書を常に心がけ、文章の表現やデータの取り扱い等を工夫 されたい。」というような表現にしてはどうか。</p>
議長	<p>「市民にとって分かりやすい、理解しやすい報告書、データの取り扱い に配慮することが望まれます。」とし、中間見直しの部分は削除するのは どうか。</p>
黒瀧副会長	<p>中間見直しの部分は、次の（２）第三次環境基本計画書作成にあたって の留意点に繋がる話ではないのか。この部分は、第三次環境基本計画策 定時のベースになるものとする。</p>
犬塚委員	<p>答申としての主題と考えると、「３．市民にわかりやすい環境報告書、 環境基本計画書を作成していただきたい。」の内容は、ちょっと意味合い が違うと感じる。</p>
議長	<p>中間見直しには制約があり、中途半端な部分や先送りするところもあっ た。第一次はコンサルを入れて環境基本計画を策定した。第二次は内部で 作ったので、限界があった。第三次は是非予算を取っていただきたい。</p>
黒瀧副会長	<p>犬塚委員の意見は、タイトルに対して筋が違うのではないかといいこと だと思いがどうか。</p>
犬塚委員	<p>中途半端ではなく、制約条件の中でちゃんとやった。今回の意見書で は、「１．景観対策、生物多様性保全に積極的に取り組んでいただきたい 。」と「２．環境市民活動を活性化するための方策について中間支援団 体（NPO）と連携して調査検討していただきたい。」を主題とし、「３． 市民にわかりやすい環境報告書、環境基本計画書を作成していただきた い。」は、なお書きでどうか。</p>
森谷委員	<p>３番は進捗状況ではないので、「３．その他」、とするのはどうか。</p>
齋藤委員	<p>２点を趣旨として書いて、３番は、なお書きが良い。</p>

議長	<p>《休憩》</p> <p>修正後の意見書を読み上げる。</p>
齋藤委員	<p>(1)に重要という言葉が4回出てくるので、2回目と3回目の重要という言葉は要らない。また、同様に、という言葉も要らない。文章的に整理した方が良い。</p>
議長	<p>皆さんのお蔭で、意見書がまとまった。(案)を削除して後日市長に提出する。</p> <p>では、事務局から何かあるか。</p>
竹廣副主幹	<p>環境市民講座の案内及びマイナンバー制度についての説明。</p>
議長	<p>委員の皆さんから何かあるか。なければ議長の座を降ろさせていただく。</p>
司会	<p>シンポジウム及び観光大使の新キャラクターのお知らせ。</p>
黒瀧副会長	<p>閉会の挨拶</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成28年3月10日

議長 の 署名

木内 勝 司

議長が指名した者の署名

黒瀧 孝 彦

